



<http://www.yokkaichi.ed.jp/~sakurada/cms2/htdocs/>

一学期を振り返って



1学期の終業式をオンラインで行いました。各学年の代表が「毎日の音読をがんばった」「苦手な国語をがんばって好きになれた」「給食を減らさないよう残さないように食べた」「友だちを笑わせた」「漢字をがんばって覚えた」「大きな声であいさつができた」「きまりを守って行動したり呼びかけたりできた」など1学期にがんばったことを発表しました。

毎日、ホームページで子どもたちの様子をお伝えしているところですが、ホームページに掲載の写真は子どもたちが「ありありなんやっ!」を実現しようとしている姿でもあります。校長の話では、その中から6枚の写真を紹介し、1学期のがんばりをたたえました。

どの学年も、学習、生活・総合的な学習の発表、係や委員会活動など精一杯、一生懸命にチャレンジして取り組むことができました。さらに自分のためだけでなく、みんなのためにできることを見つけ、挑戦する姿も立派でした。

保護者の皆様、そして地域の皆様、今学期のご支援・ご協力を賜り、ありがとうございます。

2学期も同様、ご支援・ご協力をお願い申し上げます。



夏休み ～大切にしてほしい3つのこと～



1 命を大切に!

交通事故、水の事故、熱中症・・・悲しいニュースが毎日のように流れています。それぞれ、最大限の注意をはらって、自分の命を自分でしっかりと守ってほしいと思います。

2 めあて(目標)を大切に!

夏休みだからこそできることにチャレンジしてほしいと思います。簡単ではないけれど、絶対無理でもないようなめあてを立てられるとすばらしいです。

例えば「10冊以上読書する」「ダンスの振り付けを考え、踊る練習をする」「プラスワンをノート1冊分する」「一週間に一回調理する」「おふろそうじを毎日する」・・・などはいかがでしょう!?

3 時間を大切に!

この夏休みは44日間あります。夜遅くまで外出したり、遅くまで起きていたり、だらだらした生活をしたりしていると1学期にできていたことができなくなるかもしれません。規則正しい生活リズム(早寝早起き朝ごはん等)を自分の力で整えることを大切にしてほしいと思います。



こんげつ 今月もたくさんの方にお世話になりました。ありがとうございました。



7月16日に5年生の企業連携授業を行いました。第一工業製薬株式会社四日市工場の方を講師に迎え「洗剤はどうして汚れを落とすのだろうか?」について学びました。

界面活性剤の役割をいくつかの実験を通して知ったり、オリジナルのハンドソープを作ったりして貴重な時間を過ごしました。

7月11日の早朝に、ある保護者の方がおみえになり「桜新町でサルがでました。家の周りにいて、危ないです。登校時間になりますから、みなさんに連絡をお願いします」という依頼を受けました。早速、警察署に連絡し、安全確保・注意喚起のため各家庭にH&Sで連絡しました。この日は交通安全キャンペーンでたくさんの方が通学路に立っていたので見守り会もその情報を、会員の皆さんに素早く連絡していただきました。

下校時には、担任が児童に付き添いました。良い連携が取れ、無事に1日を終えることができたと思います。保護者の皆様、地域の皆様ありがとうございました。

7月15日に図書ボランティアのみなさんが集まり、1学期の振り返りをしていたいていました。

毎週水曜日の朝の読聞かせを楽しみにしている子どもがたくさんいます。また、キッズルームの前に季節感あふれる掲示など環境も整えていただいています。

読書好きな子どもたちを育てるためにご尽力いただきありがとうございます。

いじめについて考える!

いじめは「一定の人間関係にある児童が行う心理的または物理的な行為であって、当該行為の対象となった児童等が心身の苦痛を感じているもの(いじめ防止対策推進法第2条)」です。

学校では学期に1回いじめ調査をしたり、年に2回Q-U アンケートをしたりして、ささいないじめも見逃さないように努力をしています。とりわけ、いじめ調査については紙のアンケートに換え、デジタルで調査しました。「〇〇さんに筆箱をさわられた」「話しかけたが返事をしてもらえなかった」「いやな言い方をされた」など、その子が「心身の苦痛を感じた」ものや、すでに解決しているものも「学校いじめ防止委員会」で協議し、7月現在、54件をいじめとして認知しています。

また、いじめ防止のために、様々な取り組みを進めています。

5年生が「スタンドバイ株式会社」の方を講師に迎え、いじめ予防授業をおこないました。「スタンドバイ株式会社」は四日市市と連携協定を結び、子どもたちが匿名で相談できるアプリやいじめの調査をアラートで教えてくれるアプリなどを提供しています。授業では「ネットへの書き込み」について考えました。「被害者への悪口を止めるように書き込むか」「何も書き込まないか」について選択し理由も考えました。友達と意見を伝え合いそれぞれ意見や理由を発表しました。さらにいじめの加害者でも被害者でもない傍観者について考え、「いじめを止めようと声をかける」「誰かに相談する」ことでいじめが止まる可能性が高くなることを学びました。

今後もいじめの早期解消とともに「メディア・リテラシーと人権」をはじめ、発達段階に合わせた「いじめ予防教育」に取り組んでまいります。

